

令和5年度

当初予算(案)の概要

滋賀県長浜市

# 目次

1. 各会計の当初予算（案）
2. 施策推進の取組姿勢
3. 当初予算（案）のポイント
4. 一般会計の予算規模
5. 一般会計の歳入
  - 5-1 歳入の内訳
  - 5-2 主要一般財源
  - 5-3 市税
  - 5-4 自主財源比率
6. 一般会計の歳出
  - 6-1 歳出の内訳（目的別）
  - 6-2 歳出の内訳（性質別）
  - 6-3 義務的経費
  - 6-4 投資的経費
7. 市債、基金
  - 7-1 市債残高
  - 7-2 基金残高

※計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数においては合計と合致しないものがあります。

※令和4年度予算は、当初予算（骨格予算）と補正第1号（政策予算）で編成しています。

# 1. 各会計の当初予算（案）

（単位：億円）

会計名		令和5年度	令和4年度	増減	伸び率
<b>一般会計</b>		529.00	516.00	13.00	2.5
<b>特別会計</b>	国民健康保険特別会計	111.11	108.06	3.05	2.8
	国民健康保険特別会計 （直診勘定）	1.73	1.59	0.14	8.8
	後期高齢者医療保険特別会計	16.01	15.77	0.24	1.5
	介護保険特別会計	119.86	119.77	0.09	0.1
	休日急患診療所特別会計	0.45	0.41	0.04	9.8
	農業集落排水事業特別会計	12.71	12.85	△ 0.14	△ 1.1
	合計	261.87	258.45	3.42	1.3
<b>企業会計</b>	病院事業会計	222.96	195.98	26.98	13.8
	老人保健施設事業会計	-	5.15	△ 5.15	皆減
	公共下水道事業会計	80.05	82.19	△ 2.15	△ 2.6
	合計	303.01	283.33	19.68	6.9
<b>総合計</b>		1,093.88	1,057.78	36.10	3.4

※老人保健施設事業会計は令和5年度より病院事業会計に編入します。

## 2. 施策推進の取組姿勢

### 長浜の未来を創造するまちの“好循環”を生み出す

～長浜に暮らす若者が、現在も、将来も魅力を感じられるまちを目指して～

総合計画第3期基本計画の実現に向けた初年度は、若者の転出超過を改善するため、若者の活躍や子育てを応援し、住みやすいまちの実現につなげるとともに、本市の地域資源を活かし、多くの方が訪れ、魅力を感じられる取組を進め、まちの活力を創出します。

取組を効果的に進めるため、新たに「未来創造部」を設置するとともに、市政の見直し、行政デジタル化・業務改善、歳入確保に取り組み、生み出した資源を長浜の未来創造に充てることで、まちの好循環を生み出し、魅力を感じられるまちづくりにつなげます。

#### 1.若者の活躍や子育てを応援し 「住みやすいまち」を創造します

新たに「未来子ども若者局」を設置し、若者のネットワークづくりやチャレンジ応援をスタートするとともに、こども家庭センターを設置する等、重層的な相談支援体制の充実を図り、こども・若者応援、子育て支援に関わる包括的な取組を推進します。すべての子どもたちが「真の学力」を身につける取組を推進する等、教育振興に取り組みます。

##### 《主な取組》

- 学生のみちあそび場事業、学生サポートチーム設立事業 等
- こども家庭センター設置運営、使用済み紙おむつの園処分 等
- 真の学力向上推進、学校ICT活用推進  
小中学校校舎等長寿命化改修、部活動の地域移行推進 等

#### 2.地域の魅力を活かした 「活力あるまち」を創造します

ゼロカーボンに向けた取組を加速化するとともに、「環境」「経済」「社会」の視点から地域振興につなげる実行戦略を策定し、人と資本を呼び込む取組を進めます。本市の自然や文化、歴史、交通拠点等の地域資源を最大限活用し、魅力を感じてもらえるまちづくりや持続可能な都市を形成する取組を進めます。

##### 《主な取組》

- ゼロカーボンの推進
- 長浜450年戦国フェスティバル開催
- 地域の魅力を生かした北部地域振興
- 産官学の集積を生かした南長浜地域関係検討

#### 3.長浜の未来に向けた行政経営改革

サービスの質と効率性を高めるため、行政デジタル化・業務改善を進めるとともに、財源の確保に果敢に挑戦する等、長浜の未来に活用できる資源を生み出す行政経営改革に取り組みます。

##### 《主な取組》

- 医療・教育・まちづくり等の市政の見直し検討
- 行政デジタル化・業務改善
- 未利用財産の売払、長浜ファンを増やすふるさと寄附の充実

# 3. 当初予算（案）のポイント

## (1) 新たに策定した『長浜市総合計画第3期基本計画』の着実な推進に向けた予算を編成

## (2) 将来を見据えた行政課題・地域課題への対応 ※主な事業を抜粋

- ◆ 「若者活躍」
  - 子どもと若者に関する実態調査 483万円
  - 学生のまちあそび場事業 40万円
  - 学生サポートチームの設立 34万円
- ◆ 「子育て支援」
  - 民間保育所の整備支援 1億9,012万円
  - 出産・子育て応援交付金の交付 9,639万円
  - 民間子育て支援センターの新設支援 1,424万円
  - 使用済み紙おむつの圃処分 448万円
  - こども家庭センターの設置 233万円
- ◆ 「真の学力向上」
  - 小・中学校校舎等長寿命化改修 7億7,380万円
  - ICTを活用した学びの充実 7,803万円
  - 統合型校務支援システムの拡充 1,424万円
  - 部活動の地域移行推進 346万円
  - 学力向上専門プロジェクトチーム会議 16万円
- ◆ 「デマンドタクシーの拡充」
  - 区域外停留所に総合病院・商業施設を追加 670万円
- ◆ 「エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策」 総額1億2,881万円
- ◆ 「地域医療改革」
  - 長浜市立2病院の経営形態検討 1,161万円
- ◆ 「ゼロカーボン」
  - 地域脱炭素戦略策定・推進事業 4,608万円
  - 子育て・若者夫婦世帯のZEH住宅新築支援 1,750万円
- ◆ 「長浜450年」
  - 長浜450年戦国フェスティバル事業 4,343万円
  - 長浜450年記念企画展開催 511万円
- ◆ 「北部地域振興」
  - 八田部発生土受入跡地の利活用 4,460万円
  - 余呉湖周辺公園施設等の整備 1,713万円
  - 上丹生地区消雪設備工事 1,000万円
- ◆ 「南長浜地域振興」
  - (仮称)神田スマートインターチェンジの周辺整備 2,380万円
  - 南長浜地域まちづくり関係検討業務 109万円
- ◆ 「滋賀国スポ・障スポ」
  - 滋賀国スポ・障スポの開催準備 1,694万円
- ◆ 「行政デジタル化・業務改善」
  - 「携帯する観光案内ガイド」の導入 1,390万円
  - 電子申請対象業務の拡大 895万円
  - 自治会活動のデジタル化促進 814万円

## (3) 健全な財政運営を堅持

- ◆ 一般会計 予算規模 529億円 [前年度比 +13億円 +2.5%]
- ◆ 「財政計画」（令和元年7月策定）に沿った財政規律の確保
- 投資的経費の適正化、進捗調整  
投資的経費 R5 32.0億円 [前年度比 +6.9億円] [財政計画 39.8億円]
- 公債費負担の軽減と市債残高の抑制  
市債残高（予算ベース） R4 423.6億円 → R5 398.6億円 [△25.0億円] [R5繰上償還6.5億円]
- 基金の活用  
各種特定目的基金及び減債基金の繰入  
基金残高（予算ベース） R4 356.4億円 → R5 323.3億円 [△33.1億円]
- 中学校校舎等維持管理経費（浅井中学校長寿命化改修工事） 6.4億円
- 都市計画道路地福寺神照線整備事業 2.2億円

# 4. 一般会計の予算規模

## 予算規模

令和4年度

令和5年度

516 億円



529 億円

(対前年度+13億円)

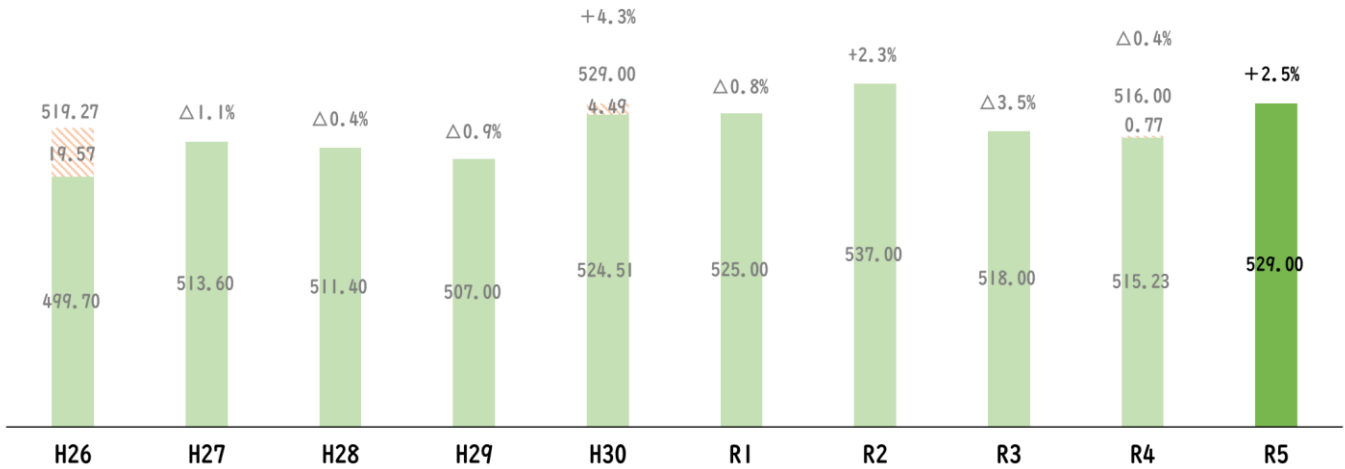
学校施設等長寿命化計画に基づく浅井中学校の長寿命化改修工事に係る経費や物価高騰等に伴う湖北広域行政事務センターへの負担金の増加、自立支援給付費などの扶助費の増加等により、予算規模は拡大しました。

財政計画に基づく財政運営を基本に、本市の人口動態、歳入規模に見合った歳出構造への転換を進め、総合計画に掲げる施策を推進していきます。また、選択と集中により限られた財源を効果的・効率的に活用し、公共施設等の長寿命化や統廃合など将来負担を軽減することで、持続可能な行財政運営を進めていきます。

## 過去10年間の推移

(単位：億円)

■ 当初予算    ◊ 補正予算（政策的経費）



# 5. 一般会計の歳入

## 5-1 歳入の内訳

	令和4年度	令和5年度	対前年度比
市税	163.28 億円	168.94 億円	+5.66 億円
譲与税・交付金	35.31 億円	39.07 億円	+3.76 億円
地方交付税	140.00 億円	142.00 億円	+2.00 億円
国庫支出金	63.45 億円	67.41 億円	+3.96 億円
県支出金	40.14 億円	40.79 億円	+0.65 億円
市債	13.68 億円	12.23 億円	△1.45 億円
繰入金	37.15 億円	34.42 億円	△2.73 億円
その他	23.00 億円	24.14 億円	+1.14 億円
合計	516.00 億円	529.00 億円	+13.00 億円

※その他には、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰越金、諸収入が含まれています。

(単位：億円)



### 【国庫支出金】

民間保育所の新設に係る保育所等整備交付金や浅井中学校長寿命化改修工事に係る学校施設整備費補助金の増加等により、+6.2%となりました。

### 【市債】

浅井中学校長寿命化改修に係る中学校整備事業債等が増加するものの、臨時財政対策債や地方道路整備事業債等の減少により、△10.6%となりました。

### 【繰入金】

浅井中学校長寿命化改修に係る教育施設整備基金の繰入れや、湖北広域行政事務センターの新一般廃棄物処理施設整備運営事業に係る公共施設等総合管理基金の繰入れが増加するものの、市債償還にかかる減債基金の繰入れの減少等により、繰入金全体で△7.3%となりました。

# 5-2 主要一般財源

## 主要一般財源

令和4年度

令和5年度

311.28 億円



314.94 億円

(+3.66億円)

市税

163.28 億円

168.94 億円

地方交付税

140.00 億円

142.00 億円

臨時財政対策債

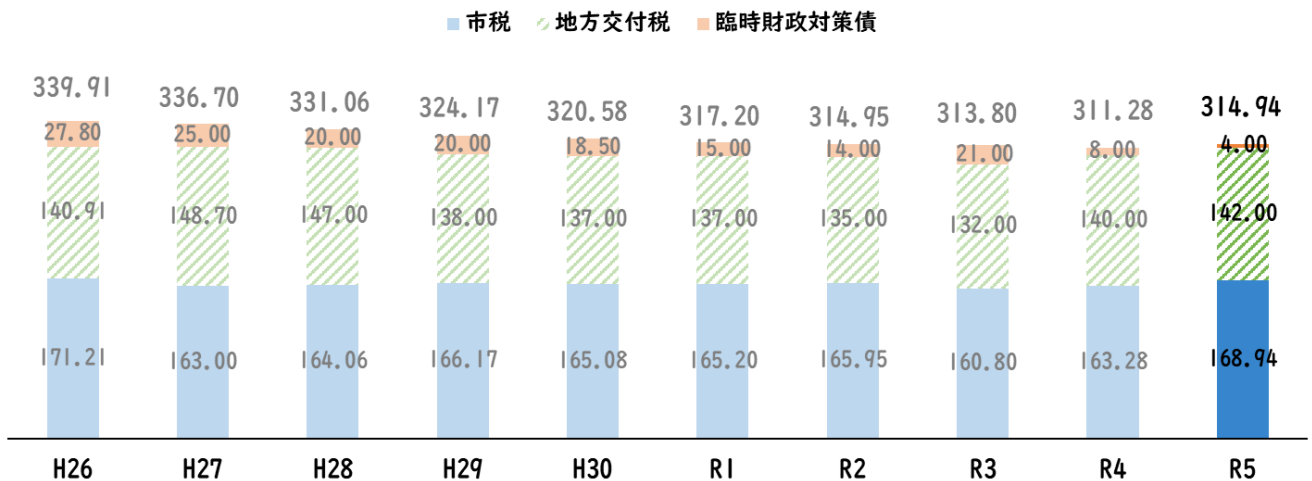
8.00 億円

4.00 億円

## 過去10年間の推移

※すべて当初予算を表示

(単位：億円)

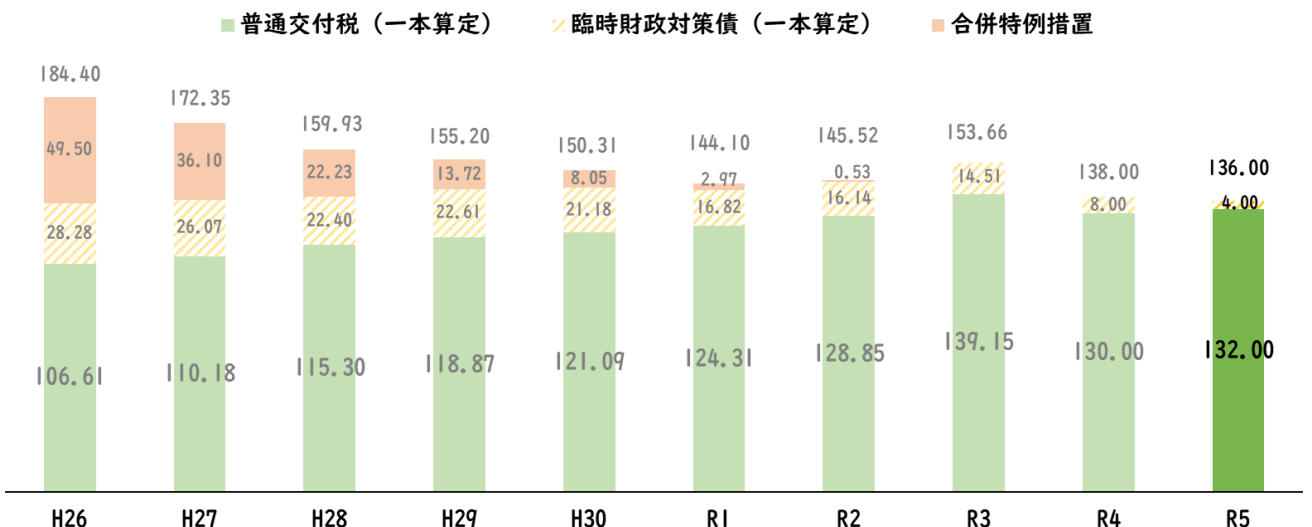


市税は、個人市民税や固定資産税等の増収を見込み、5.66億円の増(+3.4%)となりました。  
 普通交付税は、臨時財政対策債の抑制等により132億円を見込み、2億円の増(+1.5%)となりました。  
 臨時財政対策債は、国の地方財政対策を踏まえ4億円を見込み、4億円の減(△50.0%)となりました。

## 普通交付税の推移

※H26～R3は決算、R4～R5は当初予算を表示

(単位：億円)



普通交付税は、今後も人口減少が予想されることから、引き続き、総額は減少していく傾向にあります。



# 5-3 市税

## 総額

令和4年度 163.28 億円 → 令和5年度 168.94 億円  
(+5.66億円)

個人市民税	55.58 億円	57.94 億円
法人市民税	8.56 億円	9.56 億円
固定資産税	79.77 億円	81.41 億円
軽自動車税	4.76 億円	4.75 億円
たばこ税	6.95 億円	7.63 億円
入湯税	0.30 億円	0.33 億円
都市計画税	7.35 億円	7.32 億円

個人市民税は、定年退職の年齢引上げ等により増加傾向にあることから、2億36百万円の増(+4.2%)となりました。

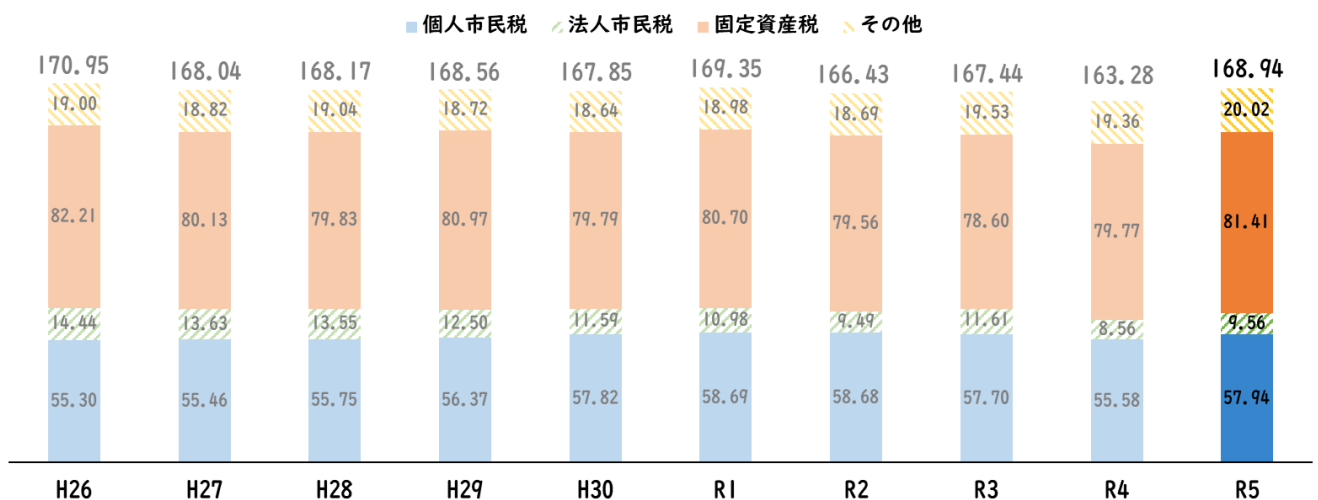
法人市民税は、主要法人の増収増益によりの増収が見込まれることから、1億円の増(+11.7%)となりました。

固定資産税は、家屋において新築の増加を見込み、また償却資産においては、企業の設備投資が増加していることから、1億64百万円の増(+2.1%)となりました。

## 過去10年間の推移

※H26~R3は決算、R4~R5は当初予算を表示

(単位：億円)



# 5-4 自主財源比率

## 自主財源比率

令和4年度

43.3%



令和5年度

43.0%

(△0.3ポイント)

## 自主財源

市税

163.28 億円

168.94 億円

その他

60.14 億円

58.56 億円

※その他には、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入が含まれています。

## 依存財源

地方交付税等

175.31 億円

181.07 億円

国県支出金

103.59 億円

108.20 億円

市債

13.68 億円

12.23 億円

自主財源比率は43.0%となり、前年度比△0.3ポイントとなりました。市税は0.3ポイント増加したものの、その他が△0.6ポイントとなっています。その他の内訳としては、普通財産の売払等に伴う財産収入やふるさと寄附金は増加しているものの、基金等の繰入金が減少しました。また、依存財源の国県支出金が4億61百万円増加し、自主財源比率を押し下げました。

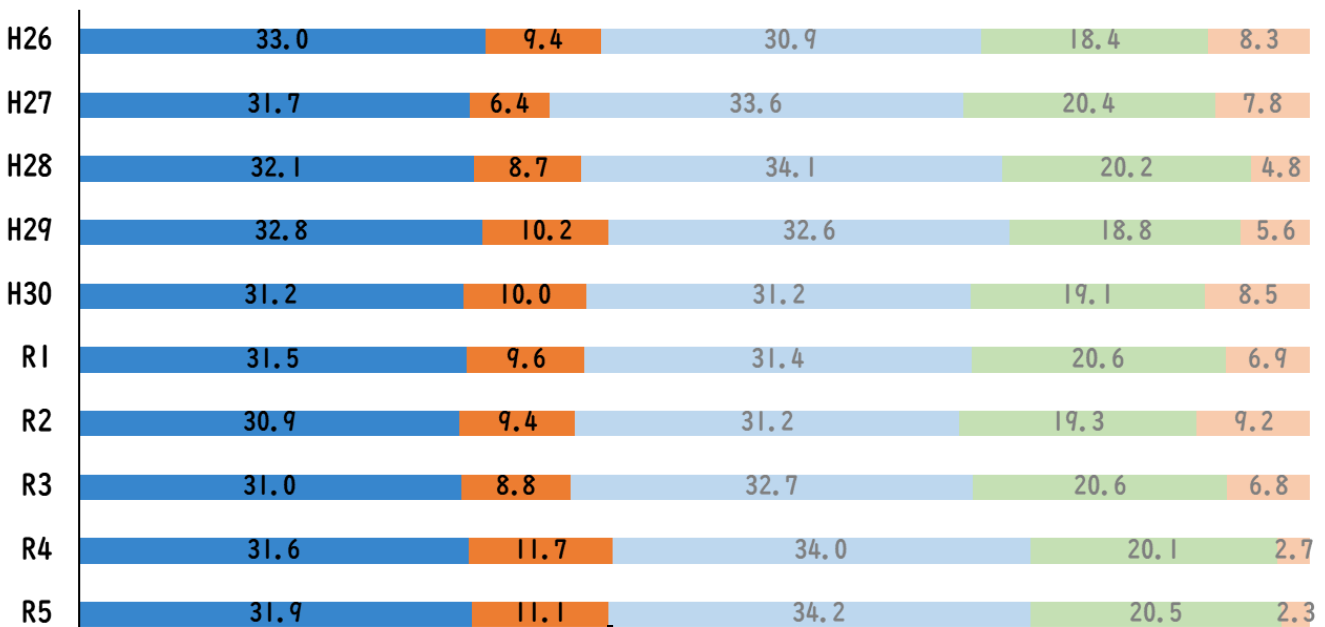
地方交付税が全体の26.8%を占めており、市税に次ぐ構成割合になっています。引き続き、交付税に依存しない自立した財政運営が求められます。

## 歳入構成割合 過去10年間の推移

※すべて当初予算を表示

(単位：%)

■ 市税 ■ その他 ■ 地方交付税・交付金等 ■ 国県支出金 ■ 市債



自主財源 ← | → 依存財源

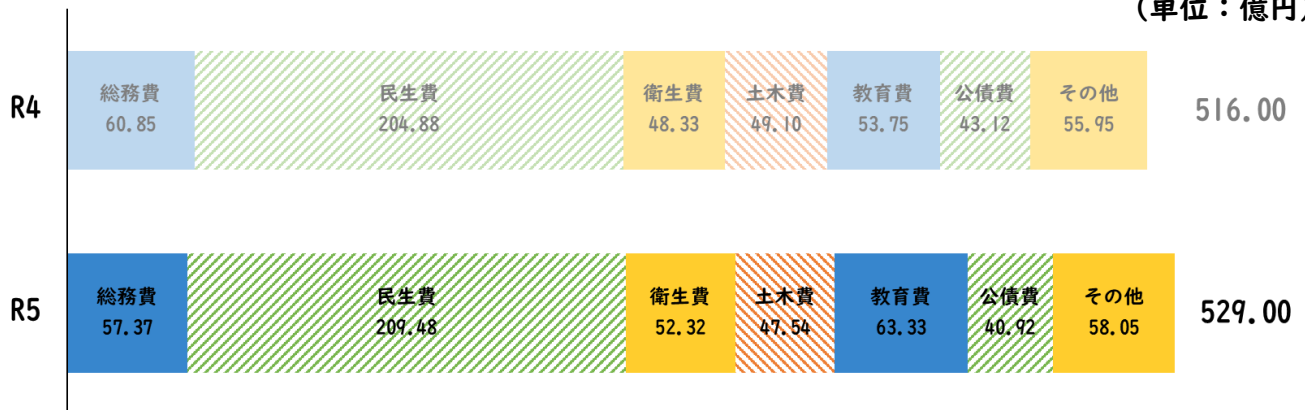
# 6. 一般会計の歳出

## 6-1 歳出の内訳（目的別）

	令和4年度	令和5年度	対前年度比
総務費	60.85 億円	57.37 億円	△3.49 億円
民生費	204.88 億円	209.48 億円	+4.60 億円
衛生費	48.33 億円	52.32 億円	+3.98 億円
土木費	49.10 億円	47.54 億円	△1.57 億円
教育費	53.75 億円	63.33 億円	+9.58 億円
公債費	43.12 億円	40.92 億円	△2.20 億円
その他	55.95 億円	58.05 億円	+2.10 億円
合計	516.00 億円	529.00 億円	+13.00 億円

※その他には、議会費、労働費、農林水産業費、商工費、消防費、災害復旧費、予備費が含まれています。

（単位：億円）



### 【総務費】

総務費は、定年退職の年齢延長による退職手当の減少や選挙執行経費の減少、また庁舎内ネットワーク環境整備が完了すること等により、前年度比△5.7%となりました。

### 【民生費】

民生費は、自立支援給付費等扶助費の増加や子ども医療費助成制度の通年予算化、民間保育所の整備に係る補助金等が増加したことにより、前年度比+2.2%となりました。

### 【衛生費】

衛生費は、物価高騰等に伴う湖北広域行政事務センター負担金の増加や出産・子育て応援給付金事業の増加等により、前年度比+8.2%となりました。

### 【土木費】

土木費は、豊公園再整備事業や市営住宅管理の民間委託に係る経費が増加するものの、急傾斜地崩落対策事業に係る経費が減少したこと等により、前年度比△3.2%となりました。

### 【教育費】

教育費は、浅井中学校長寿命化改修や旧長浜図書館の解体、学校ICT教育にかかる経費等が増加したことにより、前年度比+17.8%となりました。

※目的別とは、歳出を行政目的別に分類したものです。

## 6-2 歳出の内訳（性質別）

	令和4年度	令和5年度	対前年度比
人件費	100.45 億円	104.34 億円	+3.89 億円
物件費	74.26 億円	79.94 億円	+5.68 億円
扶助費	116.11 億円	109.03 億円	△7.09 億円
補助費等	89.10 億円	93.70 億円	+4.60 億円
普通建設事業費	25.11 億円	32.00 億円	+6.90 億円
公債費	43.12 億円	40.92 億円	△2.20 億円
その他	67.85 億円	69.06 億円	+1.21 億円
合計	516.00 億円	529.00 億円	+13.00 億円

※その他には、維持補修費、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金、予備費が含まれています。

（単位：億円）



### 【物件費】

物件費は、旧長浜図書館の解体工事、物価高騰・原油価格高騰に伴う公共施設の光熱水費・燃料代の増加、市営住宅管理の民間委託の開始等により、前年度比+7.7%となりました。

### 【扶助費】

扶助費は、自立支援給付費の増加や子ども医療費助成事業費の通年の予算化による増加を見込むものの、生活保護費の減少や認定こども園・保育所の会計年度任用職員に係る経費の扶助費から人件費への移行等により、前年度比△6.1%となりました。

### 【補助費等】

補助費等は、6次産業化施設等立地助成金が皆減したものの、物価高騰等に伴う湖北広域行政事務センターへの負担金の増加や工場の造成に対する企業立地促進補助金の増加等により、前年度比+5.2%となりました。

### 【普通建設事業費等】

普通建設事業費は、浅井中学校長寿命化改修工事の実施や保育所施設の整備支援、消防団の拠点施設整備やポンプ車購入、豊公園再整備等により、前年度比+27.5%となりました。

### 【その他】

維持補修費では、市営住宅管理の民間委託により施設修繕料が皆減、積立金ではふるさと寄附の基金積立分が増加、繰出金では介護保険特別会計繰出金や後期高齢者医療広域連合負担金が増加しました。

※性質別とは、経費の経済的な性質に着目して歳出を分類したものです。

# 6-3 義務的経費

## 義務的経費

令和4年度 259.68 億円 → 令和5年度 254.29 億円  
(△5.39億円)

人件費	100.45 億円	104.34 億円
扶助費	116.11 億円	109.03 億円
公債費	43.12 億円	40.92 億円

人件費では、定年延長に伴う退職手当の減や行政デジタル化・業務改善による時間外手当の減があるものの、保育所や認定こども園の会計年度任用職員に係る経費が扶助費から人件費に移行したこと等により、前年度比+3億89百万円(+3.9%)となりました。

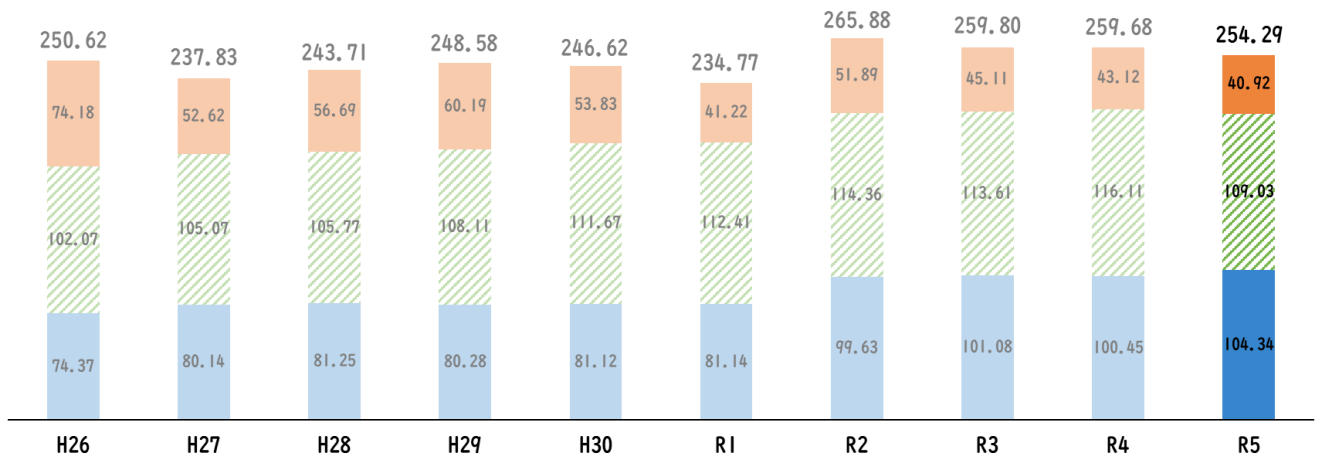
扶助費では、障害児給付費・自立支援給付費の増加や子ども医療費助成事業費の通年の予算化による増を見込むものの、前述の理由等により、前年度比△7億9百万円(△6.1%)となりました。

公債費では、長浜伊香ツインアリーナ整備事業やながはま文化福祉プラザ整備事業等の大型建設事業にかかる元金償還の開始に伴い元金償還金が増加したものの、繰上償還額が減少したことにより、前年度比△2億20百万円(△5.1%)となりました。

## 過去10年間の推移

(単位：億円)

■ 人件費 ■ 扶助費 ■ 公債費



# 6-4 投資的経費

## 投資的経費

令和4年度 25.11 億円 → 令和5年度 32.00 億円 (+6.89億円)

投資的経費については、合併後約10年間は合併特例債を活用した大型建設事業を中心に実施してきましたが、令和3年度以降は道路維持・長寿命化、公共施設の保全に対し、重点的に予算を措置しています。

市債の発行にあたっては、公共施設等の照明LED化に対し、脱炭素化推進事業債等の地方財政措置の有利な市債の活用に加え、緊急自然災害対策事業債や緊急浚渫推進事業債等、時限的かつ交付税措置率の高い市債についても積極的に活用しています。

## 建設事業債借入額

令和4年度(見込) 12.79 億円 → 令和5年度(見込) 8.23 億円 (△4.56億円)

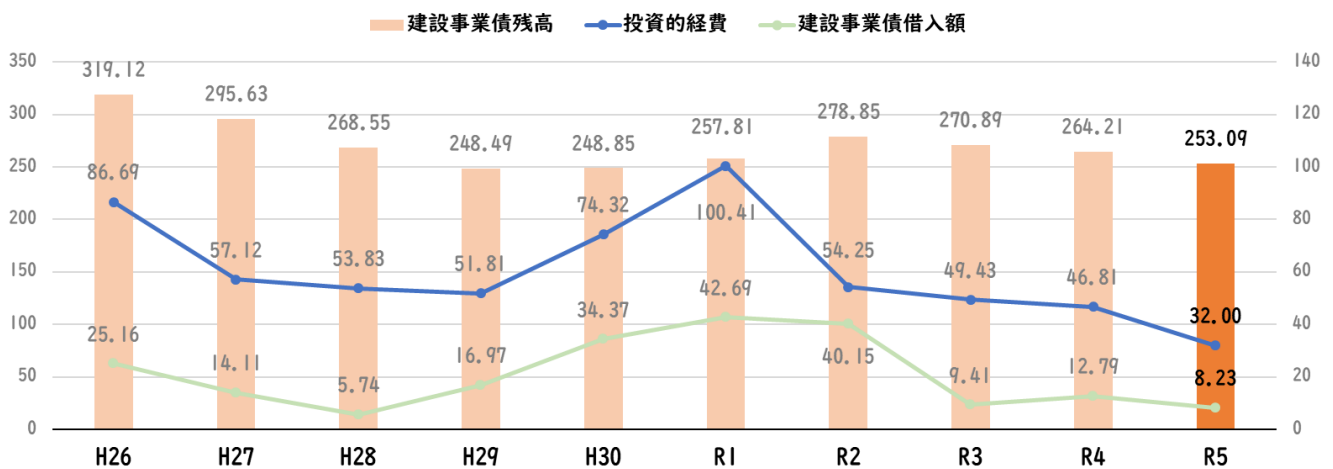
## 建設事業債残高

令和4年度(見込) 264.21 億円 → 令和5年度(見込) 253.09 億円 (△11.12億円)

## 過去10年間の推移

※H26～R3は決算、R4は補正予算案、R5は当初予算を表示

(単位：億円)



# 7. 市債、基金

## 7-1 市債残高

### 一般会計の市債残高

令和4年度（見込） 426.04 億円 → 令和5年度（見込） 398.61 億円  
 （△27.43億円）

### 建設事業債

264.21 億円 → 253.09 億円

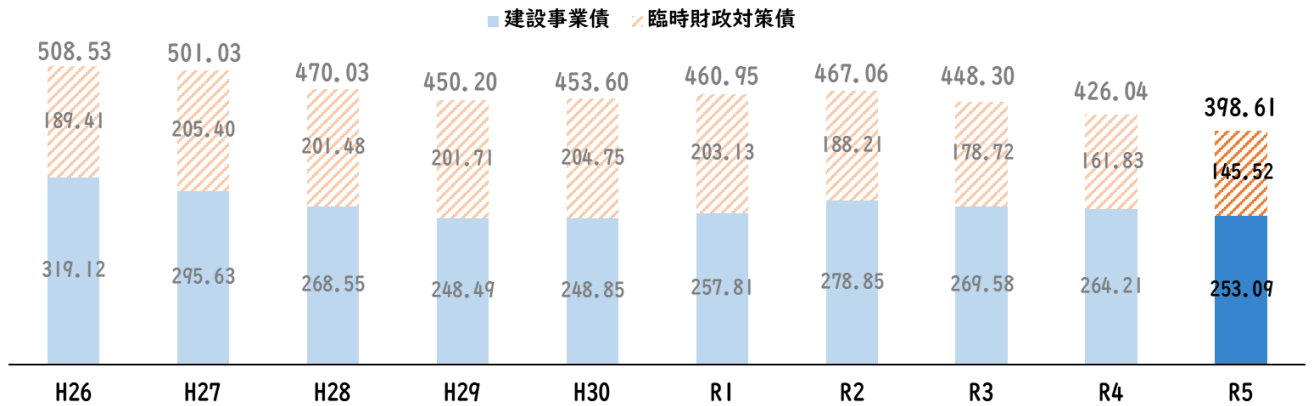
### 臨時財政対策債

161.83 億円 → 145.52 億円

### 過去10年間の推移

※H26～R3は決算、R4は補正予算案、R5は当初予算を表示

（単位：億円）



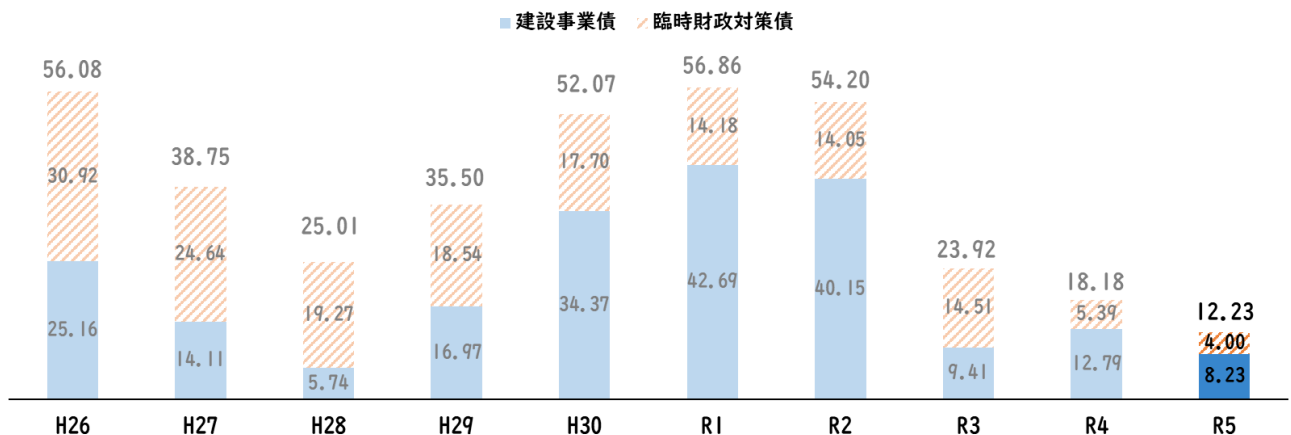
市債残高は、平成30年度から令和2年度にかけて合併特例債等を活用した大型建設事業が集中したことにより増加傾向にありましたが、計画的な繰上償還や令和5年度借入予定額の減少により、前年度比△6.4%となりました。

元金償還金を越えて市債を発行すると、市債残高及び市債償還額の増加により将来的に財政の硬直化を誘発することになります。このため、投資的事業の実施にあたっては、今後も地方財政措置の有利な市債を最大限活用しながら、計画的な繰上償還の実施により市債残高の抑制を図ることで、投資的事業の推進と財政の健全化を両立していきます。

### 市債借入額の推移

※H26～R3は決算、R4は補正予算案、R5は当初予算を表示

（単位：億円）





**基礎的財政収支  
(プライマリーバランス)**

令和4年度

29.44 億円



令和5年度

28.69 億円

(△0.75億円)

基礎的財政収支 = (歳入総額 - 市債借入額) - (歳出総額 - 公債費)  
 ※各年度で必要となる歳出を、各年度の歳入でどれだけまかなえているかを示す指標です。

**市債借入額**

13.68 億円

12.23 億円

**公債費**

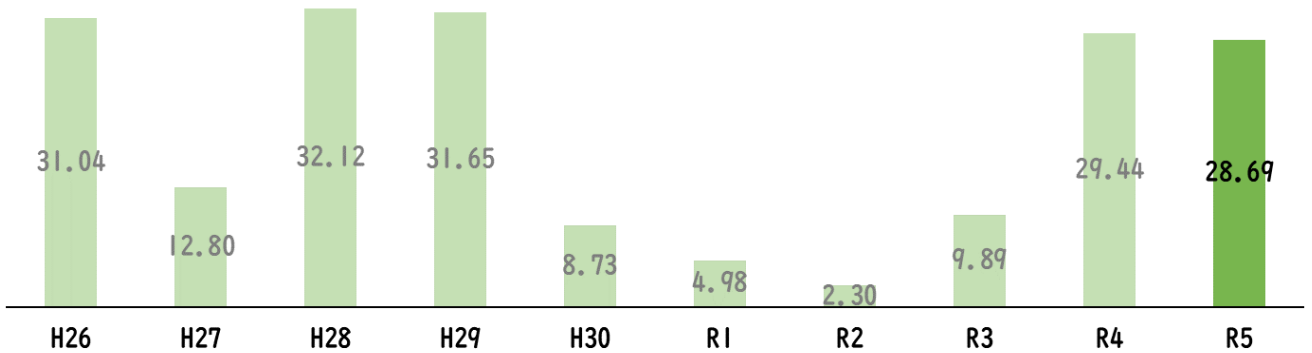
43.12 億円

40.92 億円

**過去10年間の推移**

※すべて当初予算を表示

(単位：億円)



令和5年度は、借入予定額が減少したことに加え、これまでから積極的に行ってきた繰上償還により将来負担の軽減が図られたことで、前年度に引き続き大幅な黒字となりました。

今後も計画的な繰上償還による公債費の削減に継続的に取り組むなど、引き続き、基礎的財政収支の黒字を維持し、財政の健全性を堅持していきます。

**市債依存度**

令和4年度 (見込)

3.5 %



令和5年度 (見込)

2.3 %

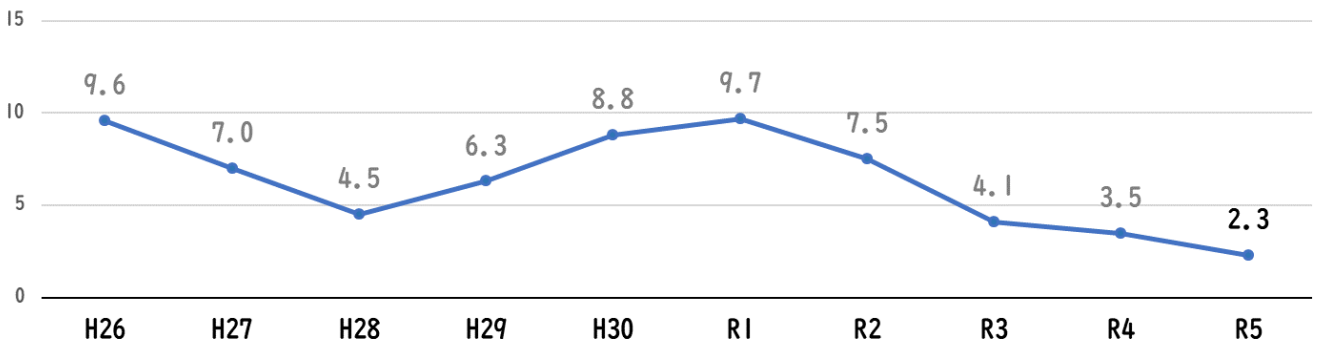
(△1.2ポイント)

市債依存度 = 市債借入額 / 予算規模

**過去10年間の推移**

※H26~R3は決算、R4は補正予算案、R5は当初予算を表示

(単位：%)





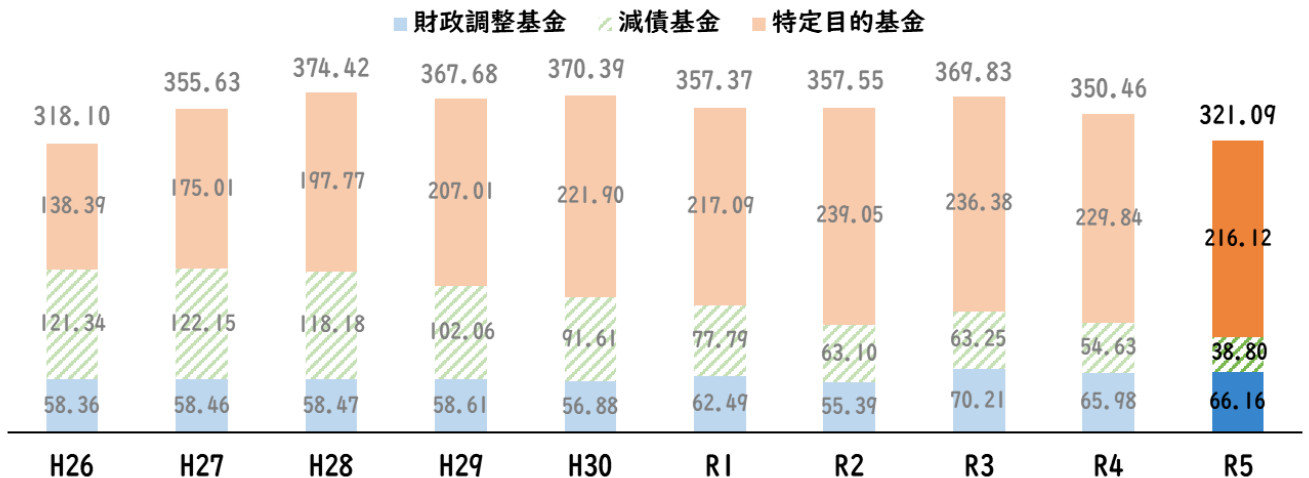
# 7-2 基金残高

基金とは、財政運営を計画的に行うため、あるいは特定の目的のために資金の維持や積立を行うもので、家計における預貯金に相当するものです。積立てられた資金や運用利子は、様々な事業の財源として活用しています。

一般会計の基金残高	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
	350.46 億円	321.09 億円 (△29.37億円)
財政調整基金	65.98 億円	66.16 億円
減債基金	54.63 億円	38.80 億円
特定目的基金	229.84 億円	216.12 億円

※特定目的基金とは、地域福祉や文化芸術など、特定の目的のために必要な事業に充てるための基金であり、長浜市には13の特定目的基金があります。(令和5年3月31日現在)

過去10年間の推移 ※H26～R3は決算、R4は補正予算案、R5は当初予算を表示 (単位：億円)



令和5年度は、学校ICT教育の推進や計画的に実施する施設の改修・維持保全等に充当するため、子ども未来教育基金や公共施設等総合管理基金、教育施設整備基金等それぞれの用途に応じた基金の繰入れを行います。また、市債の通常償還や繰上償還を行うため、減債基金の繰入れを行います。

本市では、人口減少に伴い経常的な財源が減少する中で、引き続き、暮らしやすさを維持・向上させるための施設改修や、将来の財政負担を軽減するため繰上償還等を実施していく必要があります。今後も健全な財政運営を行いながら、行政改革や経費節減等により生み出した財源を計画的に積み立てるとともに、事業の実施を円滑に行っていくよう計画的な基金の活用を行っていきます

# 一般会計における各基金の状況

(単位：千円)

基金の名称			基金の用途		
令和4年度 末残高(見込)	令和5年度積立(予算額)		令和5年度取崩(予算額)		令和5年度 末残高(見込)
	積立額	積立財源	充当事業	取崩額	
財政調整基金			大規模な災害や不測の事態の財政需要に備えるとともに、市財政の調整を図り、健全な運営に資する財源		
6,598,477	17,475	運用利子	-	0	6,615,952
減債基金			市債償還の財源		
5,463,443	15,743	運用利子	-	1,598,780	3,880,406
職員退職手当基金			市職員の退職手当に必要な財源		
1,817,919	4,762	運用利子	-	0	1,822,681
地域福祉基金			市民の福祉の向上、子育て支援、健康づくり及び医療の充実に資する事業		
3,125,309	24,500	ふるさと寄附金	生活困窮者自立支援事業費	5,803	2,862,850
			重層的支援体制整備事業費	8,767	
			地域生活支援事業費	1,020	
			放課後児童クラブ運営事業費	6,000	
			児童福祉事務経費	12,600	
			救急医療体制運営事業費	42,126	
			病院事業会計負担金	120,000	
			へき地医療体制推進事業費	1,180	
			高齢者福祉施設管理運営事業費	55,000	
			高齢者福祉事務経費	2,200	
			子ども・子育て支援事業	7,989	
			保育所運営支援事業	1,150	
			認定こども園運営支援事業	2,000	
保育所等施設整備支援事業費	21,124				
文化芸術振興基金			文化及び芸術の振興を目的とする事業		
125,733	17,500	ふるさと寄附金	文化芸術活動振興事業費	11,621	131,612
教育施設整備基金			教育施設の整備、改修に係る事業の財源		
2,359,218	6,111	運用利子	小学校校舎等維持管理経費	79,000	2,029,765
			中学校校舎等維持管理経費	256,564	
協働でつくる長浜まちづくり基金			市民と協働でつくる輝きと風格のあるまちづくりを推進する事業		
4,743,389	122,500	ふるさと寄附金	移住促進事業費	3,752	4,805,979
			中心市街地活性化推進事業費	800	
			宿泊・滞在型観光推進事業費	750	
			観光イベント開催事業費	43,432	
			林業振興対策事業費	3,764	
			地域振興政策費	7,412	
丹生ダム対策基金			丹生ダム建設事業の中止に伴う地域整備実施計画事業、地域整備及び地域振興事業		
93,164	2,839	水資源機構行政補償金	地域整備事業	1	75,075
		運用利子	地域振興事業費	20,927	
電源立地地域対策交付金等事業基金			電源立地地域対策交付金や電源立地等推進対策交付金により整備した公共施設等の修繕、維持補修、運営		
14,302	1	運用利子	市民まちづくりセンター管理運営事業費	850	12,053
			小学校管理費	1,350	
			学校保健衛生事務経費	50	

# 一般会計における各基金の状況

(単位：千円)

基金の名称			基金の用途		
令和4年度 末残高(見込)	令和5年度積立(予算額)		令和5年度取崩(予算額)		令和5年度 末残高(見込)
	積立額	積立財源	充当事業	取崩額	
まち・ひと・しごと創生総合戦略推進基金			人口ビジョンやまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく人口減少対策と地域の活性化を資する事業		
177,611	3,516	運用利子	企画管理経費	1,093	139,438
			若者活躍応援事業費	6,849	
			市民協働推進事業費	900	
			生きる力育成推進事業費	350	
			観音文化振興事業費	17,797	
			商業振興対策事業費	8,000	
			交通対策事業費	6,700	
保育士等確保緊急対策基金			教育・保育施設における教育・保育の提供に携わる者の確保やその有する優れた資質能力の確保に係る事業		
33,372	102	運用利子	子ども・子育て支援事業費	7,052	26,422
子ども未来教育基金			子どもたちの確かな学力、豊かな心及び健やかな体を育むことを目的とし、教育のより一層の推進及び充実を図る事業		
1,169,518	125,441	ふるさと寄付金 運用利子	教育指導事務経費	49,026	1,125,130
			小学校教育振興費	120,803	
デジタル化推進基金			デジタル技術を活用し、市民サービスの利便性向上及び行政運営の効率化を図る事業		
590,658	1,472	運用利子	人事管理事務経費	51,920	381,647
			図書館管理運営費	165	
			戸籍住民基本台帳管理事務経費	2,077	
			市税賦課徴収管理事務経費	2,046	
			生活保護費給付事務経費	282	
			子ども虐待DV防止支援事業費	731	
			放課後児童クラブ運営事業費	4,739	
			0次予防推進事業費	1,320	
			介護保険特別会計繰出金	51,936	
			宿泊・滞在型観光推進事業費	13,904	
			市営住宅管理事業費	1,430	
			統合型GIS整備事業費	2,739	
			景観まちづくり計画推進事業費	8,954	
			土木総務事務経費	709	
			農業集落排水事業特別会計繰出金	1,155	
			自主防災体制づくり事業費	606	
			デジタル推進事業費	9,129	
情報システム運用管理事業費	55,981				
農業委員会運営事務経費	660				
環境と社会経済の好循環創造基金			産業の振興、地域経済の活性化、脱炭素社会に向けたエネルギー施策、循環型社会形成のための財源		
268,961	63,001	運用利子	再生可能エネルギー導入促進事業費	17,876	283,875
			中心市街地活性化推進事業費	15,625	
			宿泊・滞在型観光推進事業費	10,386	
			環境こだわり農産物支援事業費	200	
			次世代産業育成事業費	4,000	

# 一般会計における各基金の状況

(単位：千円)

基金の名称			基金の用途		
令和4年度 末残高(見込)	令和5年度積立(予算額)		令和5年度取崩(予算額)		令和5年度 末残高(見込)
	積立額	積立財源	充当事業	取崩額	
公共施設等総合管理基金			本市及び一部事務組合の公共施設等の整備、改修、維持保全、除却等、公共用地等の取得に係る事業(負担金)の財源		
8,465,124	21,018	運用利子	本庁舎管理経費	44,000	7,915,897
			市民まちづくりセンター整備事業費	22,600	
			長浜市民交流センター整備事業費	37,000	
			湖北広域行政事務センター負担金	133,977	
			農業用施設等維持管理事業費	22,000	
			林道治山維持管理事業費	23,500	
			道路維持管理事業費	149,000	
			地福寺神照線整備事業費	44,850	
			改良住宅譲渡事業費	50,000	
			湖北地域消防組合負担金	1,118	
			湖北支所等管理経費	42,200	